

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県 新庄市

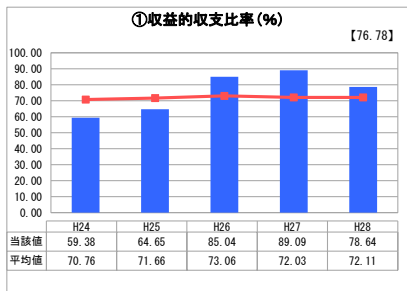
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	1.58	4,536	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36,764	222.85	164.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
577	0.70	824.29

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



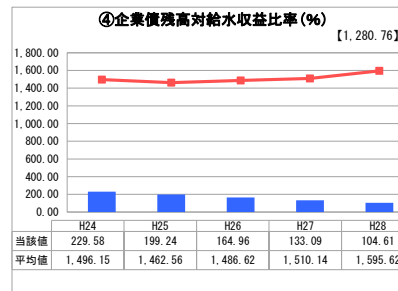
「単年度の収支」



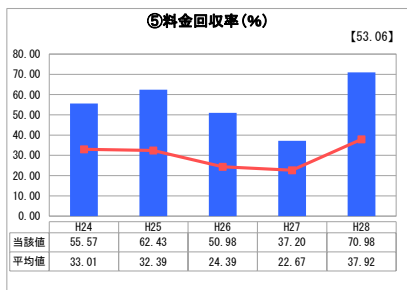
「累積欠損」



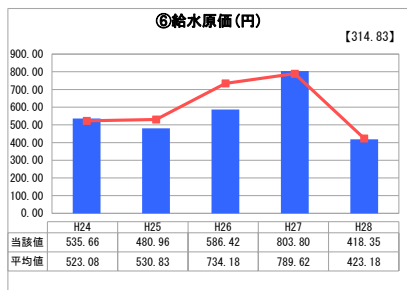
「支払能力」



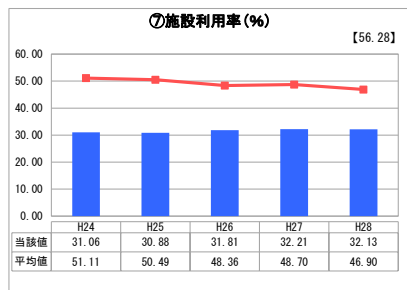
「債務残高」



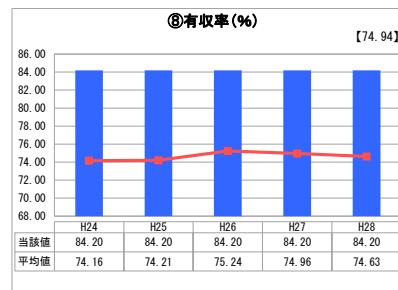
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

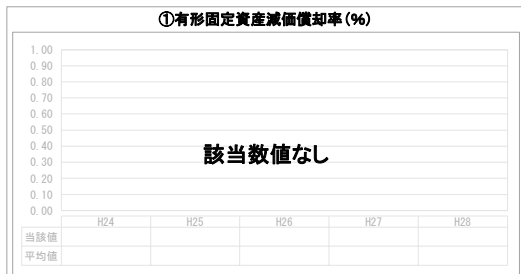


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

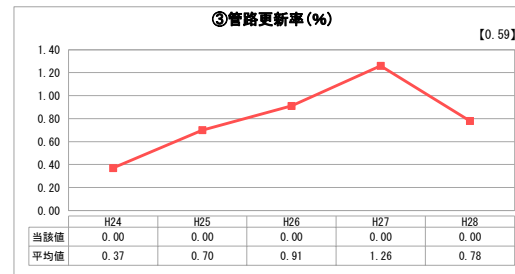
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年間総有収水量は、社会情勢等の影響により少ない。使用料収入が増えず、経営に影響を与えている。施設利用率も低い状態が続いている。経営改善のための使用料の改定については、上水道使用料との関係もあり、状況を見極めながら判断する必要がある。給水原価は、施設の修繕に係る費用が大幅に減少したことにより前年より改善した。給水原価の改善に伴い、料金回収率が向上した。

### 2. 老朽化の状況について

耐用年数が経過している施設が数多くある。経営状況を踏まえ、計画的な対応を進めていく必要がある。

## 全体総括

健全経営を図るため、上水道事業との経営統合に向け調整を進めている。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。